学校番号	325

令和８年度　芸術科

教科	芸術科	科目	音楽鑑賞	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	自主作成プリント　等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・鑑賞活動を通して、日本、西洋音楽を含む諸外国の音楽文化の特性・歴史を学び、感受することにより、幅広い音楽観、並びに日常生活と音楽の関係性を意識し、生涯音楽愛好する心情を育成します。
・毎時間の鑑賞に関するレポート課題や討論、年２回の課題研究発表とレポート、学年末試験にて評価します。

２　学習の到達目標

さまざまな音楽の鑑賞を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、専門用語を含んだ文章で表現する力を身に付けるようにする。
（２）音楽に関する知識を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽を評価したり、よさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。
（３）主体的・協働的に課題に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、個性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、専門用語を含んだ文章で表現する力を身に付けている。	音楽に関する知識を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽を評価したり、よさや美しさを深く味わって聴いたりしている。	主体的に課題の発表及び鑑賞に関する幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	音楽と映像の関係	『ファンタジア』 『ブラスト』 『スウィングガールズ』 ・音楽がもたらす映像の効果を理解する ・音楽や映像から想像したことを文章で表現する。	a: 映像と音楽との関係を理解し、言葉で表現する力を身に付けている。 b: 視覚と聴覚から、音楽を形づくる要素を知覚し、その良さや美しさを感受しながら、音楽への理解を深め、その魅力について思考している。 c: 映像と音楽の調和に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	レポート	レポート	レポート
	課題研究発表	『音楽で自己紹介』 ・内容作成 ・テーマに沿った音楽選択 ・スライド作成 ・発表 ・自他講評	a: 表現したいことを効果的に伝えるための技能を身につけている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、そこから生まれる雰囲気や特徴を感受しながら、意図をもって表現している。 c:音楽の持つ魅力や効果に興味を持ち、積極的に取り組んでいる。	レポート	レポート	レポート 発表態度
	ミュージカル・演劇	『キャッツ』 『ウィキッドとオズの魔法使い』 『ジェーン・エア』 ・場面や歌詞に応じた曲調の変化を理解する。 ・作品によって変わる曲調を比較し文章で表現する。	a: ストーリーと歌詞の内容との関わりや場面に応じた音楽の効果を理解している。 b: 視覚と聴覚から、音楽を形づくる要素を知覚し、その良さや美しさを感受しながら、音楽への理解を深め、その魅力について思考している。 c: 映像と音楽の調和に関心を持ち、意欲的に課題に取り組んでいる。	レポート	レポート	レポート

2学期	身近なクラシック	『のだめカンタービレ』 『スウィングガールズ』 『蜜蜂と遠雷』 ・クラシック音楽や楽器の種類について理解する。 ・楽器の構成によって変わる曲調の変化を感じ取り、文章で表現する。 ・楽典（楽器分類、、オーケストラ配置、拍子）	a:クラシック音楽の曲想や多様性、楽器の特徴を理解している。 b: 音楽を形づくる要素や楽器の特徴を知覚し、その良さや美しさを感受しながら、音楽への理解を深め、その魅力について思考している。 c: クラシック音楽に関心を持ち、意欲的に課題に取り組んでいる。	レポート	レポート	レポート
	課題研究発表	『俳句からショートムービーを作る』 ・好きな1句を選ぶ ・俳句に合ったクラシック曲を探す ・楽曲について調べる ・グループで発表	a: 曲の魅力を理解し、意図を持った発表をするための技能を身につけている。 b: 音楽を形づくる要素や楽器の特徴を知覚し、その良さや美しさを感受しながら、音楽への理解を深め、俳句との関係性について思考している。 c: クラシック音楽に関心を持ち、グループで協働して意欲的に課題に取り組んでいる。	レポート 観察	レポート	レポート 観察 発表態度
	作曲家について知る	『アマデウス』 『不滅の恋』 ・楽典（音楽史、作曲家） ・作曲家の生涯を知り、音楽作品の変容を理解する。	a:クラシック音楽の曲想や作曲家による特徴の違いを理解している。 b: 時代や作曲家による音楽の特徴を知覚し、その良さや美しさを感受しながら、音楽への理解を深め、その魅力について思考している。 c: クラシック音楽の作曲家に関心を持ち、意欲的に課題に取り組んでいる。	レポート	レポート	レポート

3学期	時代による音楽の変容を知る	「春の祭典」 「魔笛」 「グレゴリオ聖歌」 「展覧会の絵」 ・楽典(音楽史、作曲家) ・作曲家によって変わる曲調の違いを理解する。 ・音楽から想像した情景を、音楽の特徴と結び付けて表現する。 ・学年末試験	a: 音楽と舞台表現との関係を理解し、専門用語を使って言葉で表現する力を身に付けている。 b: 視覚と聴覚から、音楽を形づくる要素を知覚し、その良さや美しさを感受しながら、音楽への理解を深め、その魅力について思考している。 c: 音楽による舞台演出の効果に関心を持ち、意欲的に課題に取り組んでいる。	レポート 試験	レポート 試験	レポート 試験

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度